Computer Academy Nakamuragakuen PROFESSIONAL COLLEGE

CANジャーナル

2024
令和６年
２月号

学校法人　中村学園
専門学校　静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

進 路 室 より

「早期化」や「採用手法の多様化」を理解し、自ら対応していこう

進路室長　橋野 幸男

リクルート「就職みらい研究所」所長の栗田貴祥さんが、昨今の『**就活の早期化**』について、「日本経済新聞」連載記事『**就活のリアル**』で次のように紹介・分析しています。

═ 2024 年大卒予定者の昨年 12 月 1 日時点の内定率は 95.1%と、前年と同水準となった。

「**現行の就活スケジュールとなった 17 年**」以降 ～ 大きな変化はない。ただ、2 月 1 日時点から月次で定期的に発表している内定率を経年で比較していくと、大きく変化していることが見て取れる。《*下表のデータを引用*》3 月 1 日には ～ すでに 3 割の学生が内定をもらっている状況だ。6 月 1 日時点では 79.6%と **17 年卒以降で過去最高の内定率**となり、「**就活の早期化**」がはっきりと数字に表れていることが分かる。 ═

	2 月 1 日時点	3 月 1 日時点	6 月 1 日時点	12 月 1 日時点
2024 年卒	**19.9％**	**30.3％**	**79.6％**	95.1 ％
2023 年卒	13.5%	22.6	73.1	94.0
2017 年卒	***2.3***	***4.6***	***51.3***	*93.6*

続けて栗田さんは、「ここまで早期化が進んでいる**背景**」（**要因**）として、次の二つを挙げています。

① 「**ますます深刻化する人手不足社会への危機感**」… 10 年代前半まで求人倍率は景況感との相関が強かった。しかしいまや、**人材獲得競争の激化を見越し**て景況感との相関はそれほど見られなくなっている。

② 「**『インターンシップ隆盛』の影響**」… 23 年卒について（企業に）**実施目的**を聞くと「**仕事を通じて**、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」が 87.2%と圧倒的に多く、次いで「**採用を意識し、学生のスキルを見極める**」が 39.5%になっている。「**採用活動につなげたい**」**という企業側の意欲**の高さがうかがえる。
学生側の参加状況は 14 年卒では 23.9%だったが、23 年卒では 75%が参加。就活準備において企業を知る重要なプロセスの一つになってきたことが分かる。

・・

「人手不足の深刻化」に加えて「**技術進歩、産業構造の変動**」**の速さが相まって**、「早期化」など「採用スケジュール」の変化だけでなく、企業の「**採用手法の多様化**」も進行しています。例えば、DX 採用での「**スキル基準採用**」の導入、「**逆求人サイト**」の増加、「**ワーク・サンプル**」や「**『対話型』採用**」の活用、人事担当者の「**『(学生の) 志望動機』は評価するものではない、高めるもの**」という意識変化など、いくつかは授業で紹介しました。ザックリ言えば、「**採用・就職活動の常識が、また、大きく変わってきている**」のです 。

皆さん自身も就職活動の経験値を高める中で「新しい常識」を察知し仲間と共有し、そして各自が対応を図る、そうした「試行錯誤」を行なってください。

令和５年度　海外研修・修学旅行代替
２年「電子・福祉合同東京研修修学旅行」

令和5年１２月１８日（月）～１２月２２日（金）実施

＜研修テーマ＞
『歴史を大切にしながら、10 年･20 年先の社会を見据えた研修とする』

＜研修の目的＞
- 2025 年問題、2030 年問題、DX 化、異常気象など、現代社会の課題を知る。
- 様々な課題と SDGs との繋がりを身近に捉える。
- 各学科の専門スキルを生かし、「問題解決の具体策、持続可能な世界を築くための方策、将来自分はどのように目標達成に貢献できるのか」を考える機会とする。

＜研修先＞
- 両国・東京スカイツリー・スモールワールズ TOKYO・屋形船
- チームラボプラネッツ TOKYO・浅草寺

第２学年主任　山本　佳郁代

今年度予定しておりました海外研修修学旅行は、国内・海外の物価高騰、コロナ・インフルエンザの感染症等の事由を考慮し、残念ながら中止とさせていただきました。その代替として、「電子・福祉合同東京研修修学旅行」を実施いたしました。

東京での研修に向けて、各学科の専門性と研修の目的がどのような結びつきを持つのか事前調べすることで、明確なテーマを持って各施設での研修に取り組むことができました。東京では、学生たちはテーマを軸として日本の歴史に触れたり最先端の技術を体験したりして、10 年・20 年先の社会を見据えた専門職の在り方等を探求する姿がありました。

研修発表会では、学科を越えた学びを共有し、専門職を目指す人材としての感性の幅も広がったのではないでしょうか。そして、研修成果だけではなく全行程を通して仲間との絆を深める有意義な研修修学旅行となりました。

「研修から学んだ社会福祉士の視点」

総合福祉学科２年　天野　麻絢

今回の東京研修修学旅行を終えて、SDGs の視点から様々なことを学ぶことができました。

スモールワールズ東京では、世界中の文化や価値観を尊重した施設づくりがされていました。例えば、イスラム教徒向けの祈祷室が設けられていたり、ミニチュアの世界で国籍や性別・年齢にこだわらない人物のフィギュアが展示されていたりと、SDGs に関連した工夫があることを学びました。その中で将来、私たちが介護福祉士・社会福祉士として何ができるのかを考えました。SDGs の 11 番の「住み続けられるまちづくりを」の中では、世界中の自然災害や環境問題に対してだれもが参加できる、だれも取り残さない持続可能なまちづくりを目指します。社会福祉士として、クライエントの思いや希望を尊重し、その方のニーズに合わせた対応ができる人になれるよう努めていきます。

「就職後に活かしていきたいこと」

介護福祉学科２年　松本　真菜佳

私が東京研修修学旅行に行き、現代の文化や昔の文化などさまざまな歴史に触れることができました。私たちが目指す介護福祉士となったとき、どのように活用し利用者様の施設での生活をより快適にできるかを学んでくることができました。実際にチームラボやスモールワールズ東京に行き、グループのテーマである視覚に与える影響がどのようなものかを実際に感じることができました。高齢者の方々が日常生活を送るにあたって、少しでもその中に変化がある方が、生きがいや楽しみにつながるのではないかと研修で学ぶことができました。食事や入浴など日常生活のすべての場面で、視覚からの情報に少しでも変化をつけ、普段とは違う非日常的な体験をすることも生きがいや楽しみになると思います。研修で学んだことを、今後の生活や介護福祉士として支援を行う際に発揮していきたいです。

「研修修学旅行で得た学びと感動」

子ども心理学科２年　城内　沙羅

今回の研修修学旅行では、SDGs や今後の将来を基軸にグループワークを通して、様々な学びと経験を積むことができました。

まず印象に残っているのはスモールワールズ TOKYO です。数多くのミニチュアの世界の中でパーク内に取り入れられている SDGs を探し、その役割を考えるプログラムを体験したことで誰でも活躍できる社会を実現できる取り組みを学ぶことができました。次に印象的だったのはチームラボプラネッツ TOKYO です。ここでは、自分自身が裸足になり、4 つの巨大な作品空間と 2 つの園庭空間から様々な感覚を楽しむことができました。普段は味わうことができない感覚を「五感」で体験することができました。

NO.２へ続く

Computer Academy Nakamuragakuen PROFESSIONAL COLLEGE

ＣＡＮジャーナル

2024
令和６年
２月号

学校法人　中村学園
専門学校　静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

今回の研修を通して、SDGs とテクノロジーの関係性や情報の多い社会の中で子ども達が、やりたいことを見つけあったり、チャレンジできる環境が大切だと学びました。

「バリアフリーな視点から見た東京観光」

視能訓練士学科２年　遠藤　結希未

今回の研修旅行では視能訓練士の目線で観光地を訪れ、どのような視覚障害者に対する配慮がされているかに注目して見学しました。

多くの外国人観光客が訪れる東京タワーやチームラボプラネッツでは、SDGs に基づき環境への配慮や全ての人が楽しめる多くの工夫がなされていました。特に多言語に対応したスタッフや掲示板が目立ちました。

また、東京の様々なところにバリアフリーの配慮が多く存在し、視覚障害を持つ方でも楽しめる観光地が多くあることを知りました。視覚障害の中でも色覚異常を持つ方々は健常者と色の感じ方が違うため美術館などの展示を楽しむことが難しいことがあります。私たち視能訓練士が観光施設のバリアフリーを理解することで、患者さんの視覚障害に寄り添い楽しめる施設を紹介することができます。今回の研修を通して学んだことを将来視能訓練士になった時に生かしていきたいです。

「留学生が体験して心に残る　“新たな象徴”」

IT ゲーム＆ロボットシステム学科２年
ドーヴァンタン（ベトナム人留学生）

東京研修修学旅行を終えても、私は素晴らしい感情を胸に抱き続けています。特に強烈な印象を与えたのは、東京のすさまじい発展であり、それはスカイツリーや高層オフィスビルのような象徴的な建造物を通じてはっきりと表れ、美と現代性が結びついた素晴らしいシーンが創り上げられています。

「Small Worlds Tokyo」では、たくさんの歴史を目の当たりにし、産業革命から現代社会が形作られた経緯を認識しました。SDGs を中心に、将来の課題や予測不可能な災害に対処する解決策に気づかされました。

チームラボでは、IT とエンタメが結びついて、目の前に新しい世界が広げられ、視覚から聴覚、感覚、嗅覚まで、初めての体験をすることができました。

また、屋形船での和食と東京湾の夜景、もんじゃストリート、浅草寺を楽しむことができ、日本文化への興味が更に深くなりました。

今回訪れたエリアに、日本の独特な特徴が集約されています。美しい数々の瞬間を友達と共有し、忘れられない思い出を作り上げられたことに、心から感謝しています。

「多彩な学びと感動の旅」

音響&映像メディアクリエイト学科２年　大坪　理功

東京研修修学旅行は電子と福祉の学生が一緒になっての研修ということもあり多くの学びがありました。

研修先は、歴史と現代が交錯する浅草、新しい技術や時代の最先端を体験することができるチームラボやスモールワールズ東京など印象に残る研修先が目白押しでした。中でも、屋形船での食事と水上からの夜景はなかなか経験することができない体験であり、強く印象に残っています。また、最後の発表では電子、福祉それぞれの学科が学んだ分野からの目線で SDGｓ等の社会問題についての考えを発表しました。自分の学んだ分野とは違った目線での捉え方は勉強になることが多々ありました。

私たちは高校時代にはコロナ禍全盛期ということもあり、様々な制限を受けてきました。そのため、今回の研修修学旅行はとても有意義であり、良い思い出となりました。今回学んだことを社会に出てからも活かしていきたいです。

令和5年度　我道祭(文化祭･学園祭)

令和6年2月22日(木)～2月25日(日)実施

本校の校訓「技術は力なり　我は我が道を行く　“How to”人間ではなく“Why”人間の養成」が由来となっている我道祭（がどうさい）が今年度も開催されます。コロナ禍で縮小してきましたが、今年度は通常開催の予定です。我道祭は文化祭１日・学園祭２日の計３日間で開催されます。地域の方や学生のご家族に好評のバザーや、姉妹校第一ひかり幼稚園の園児が来校し開催される幼稚園イベント、講師の先生をお招きして行われる公開講座「メタバースが拓く未来の社会～エンタメ・ゲームの枠を越えて福祉・医療へと繋がる世界～」と様々なイベントも行われます。ご家族やお友達・後輩のみなさんにも声をかけていただき、本校での楽しい思い出の１つにしていただきたいです。みなさんの模擬店イベントも楽しみにしています！！

昨年度の様子

企画広報室より

後期AO入学選考

【Ａ日程】終了

【Ｂ日程】
・エントリー期間：令和６年１月　９日（火）～２月17日（土）
・結　果　発　送：令和６年１月12日（金）～２月21日（水）

【Ｃ日程】
・エントリー期間：令和６年２月26日（月）～３月23日（土）
・結　果　発　送：令和６年２月29日（木）～３月29日（金）

第5回入学選考

〇入学選考日：令和６年２月１７日（土）
特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考

〇出願受付期間：～２月１６日（金）１５時必着

以降、最終選考は令和６年３月２９日(金)となります。

オープンキャンパス

【 日 程 】　両校同時開催
〇2/　８（木）１７：００～　　〇2/１７（土）１３：１５～
〇2/28（水）１７：００～　　〇3/　９（土）１３：１５～

★最終スペシャルオープンキャンパス：3/23(土)開催
卒業生も参加し、職業イメージアップ！

上記日程以外でも「個別でのオープンキャンパス」や「オンライン個別相談」を実施します。 お気軽にご連絡ください。

２月の行事

７日（水）補講授業・卒研・ケアスタ
後期試験・卒業試験・追再試補講　～２１日（水）
８日（木）オープンキャンパス１７：００～
6.5 回ステップアップレッスン
１１日（日）建国記念の日
１２日（月）振替休日
１４日（水）１ＯＲＴメディックファーストエイド
１５日（木）Ｊ検・Ｂ検ＣＢＴ１６：３０～
１７日（土）第５回入学選考、第７回ステップアップレッスン
オープンキャンパス１３：１５～
２０日（火）ケアスタディ発表会
２２日（木）文化祭
２３日（金）天皇誕生日
２４日（土）文化祭・学園祭　～２５日（日）
２６日（月）文化祭・学園祭振休
床面清掃
２８日（水）オープンキャンパス１７：００～
第８回ステップアップレッスン